

# 小中連携教育コーディネーター概論

「新たな学びと教育リソース」

久世 均(岐阜女子大学)

# 第8講 「新たな学びと教育リソース」

## 【目的】

日本では1980年代から「自己教育力」が推奨され、「自ら学び自ら考える力」が重視されている。このことは、他律的でなく自律的な学習態度の教育が重要になっている。ここでは、この実践的資質能力の向上と、反転授業での活用を想定した教育リソースの開発について考える。

## 【学修到達目標】

- 反転授業について具体例を挙げて説明できる。
- 反転授業について具体的に授業設計ができる。

# 第8講 「新たな学びと教育リソース」

## 1. 新たな学び

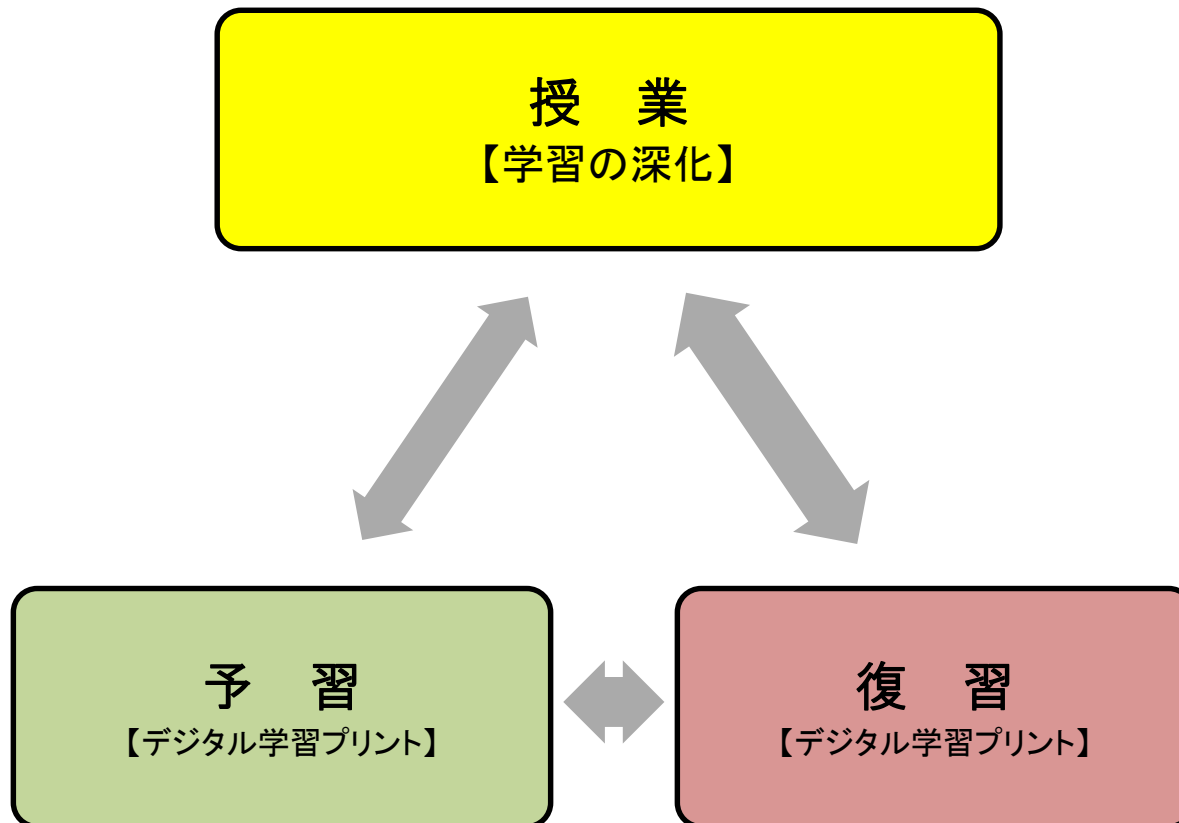
### (1) 反転授業

反転授業とは、授業と宿題の役割を「反転」させ、授業時間外にデジタル教材等により知識習得を済ませ、教室では知識確認や問題解決学習を行う授業形態のことを指す。

- 反転授業の導入によって、学習時間を増やし教室内で知識を「使う」活動を促し、学習の進度を早め学習効果を向上させることが期待される。
- 一方で、反転授業の実施にあたっては、学校や家庭におけるICTの環境整備やオープン教材の普及、自習時間の確保や教員の力量形成が課題となる。

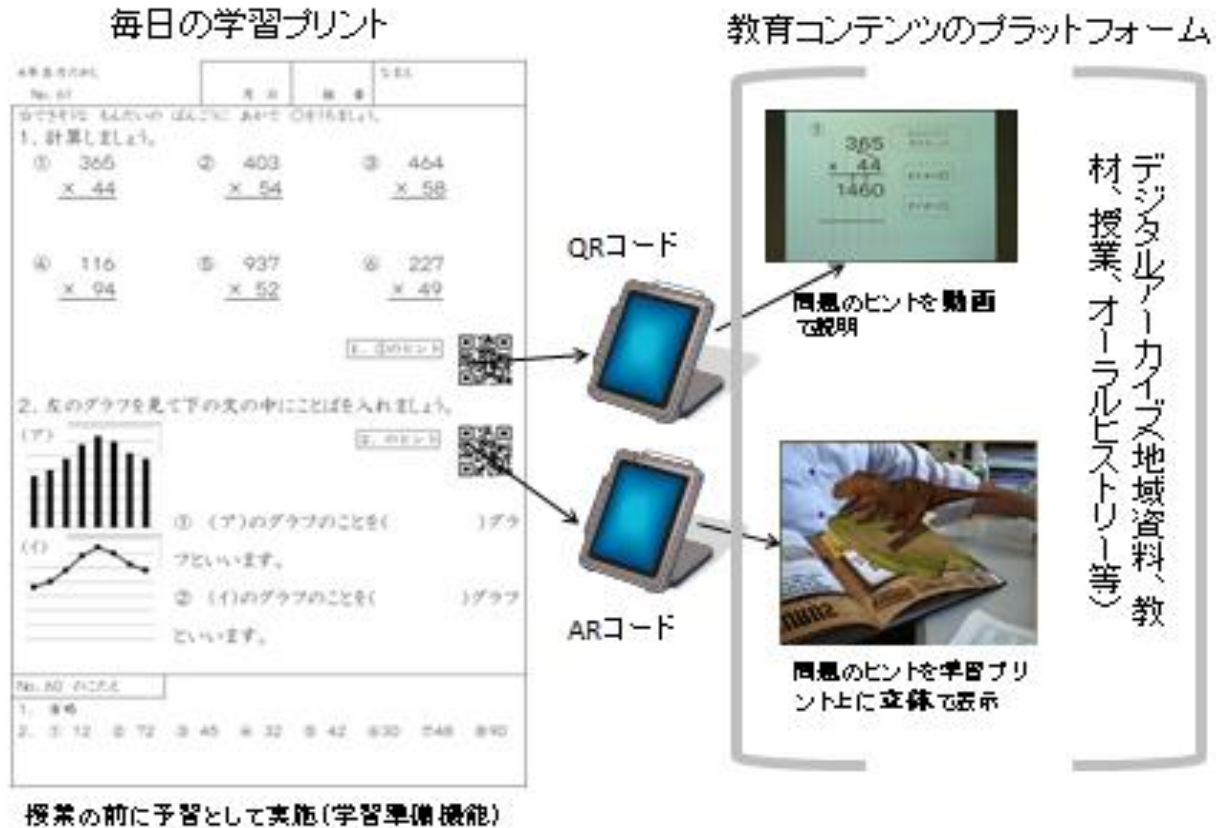
# 第8講 「新たな学びと教育リソース」

## 3. 新たな学びと教育リソース



# 第8講 「新たな学びと教育リソース」

## 4. デジタルアーカイブと教育リソースの連携



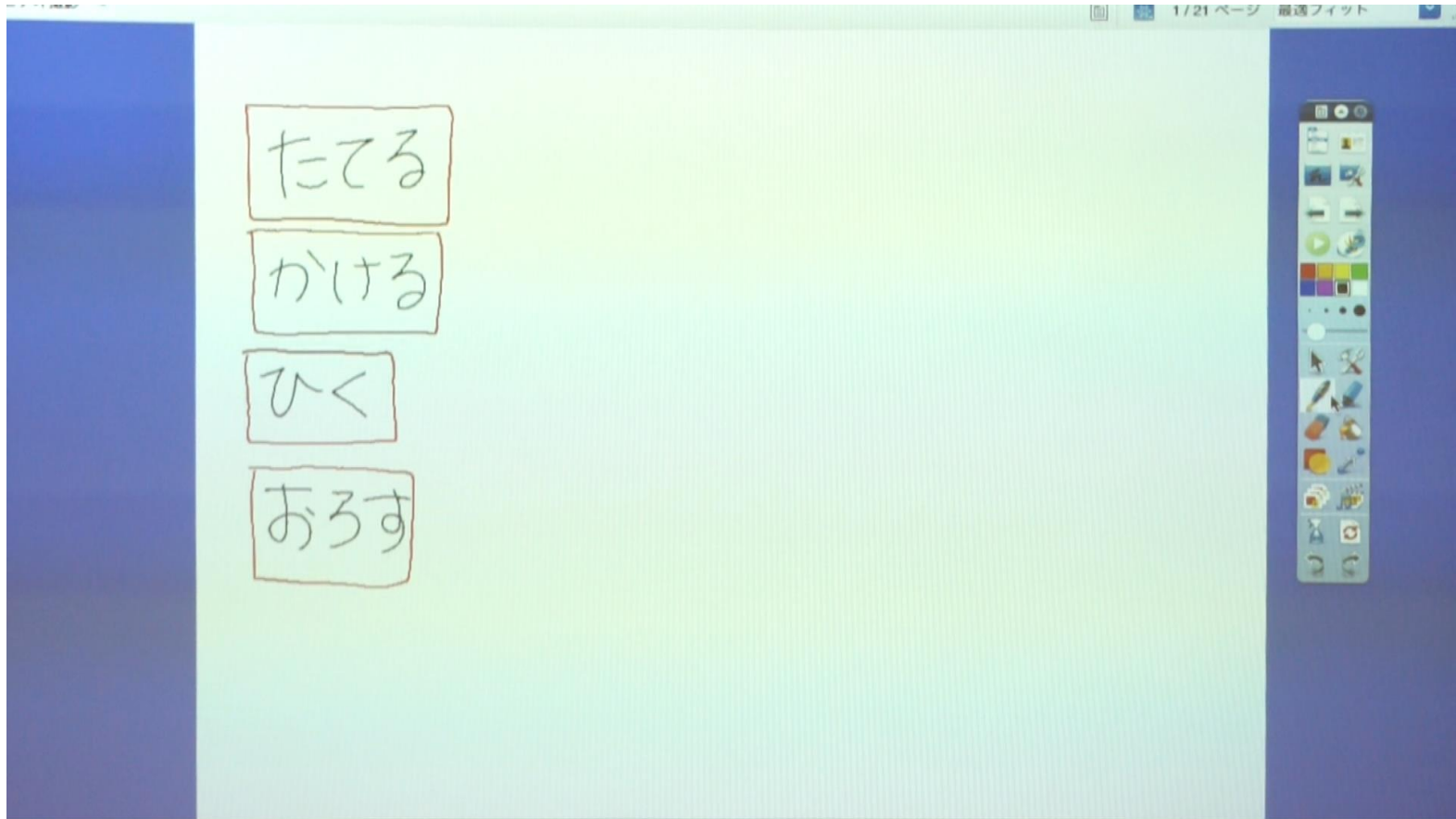
# 第8講 「新たな学びと教育リソース」

## 4. デジタルアーカイブと教育リソースの連携



# 第8講 「新たな学びと教育リソース」

## 4. デジタルアーカイブと教育リソースの連携



# 課題

1. 反転授業とその効果と可能性について説明しなさい.
2. 反転授業の学習展開について具体的に説明しなさい.
3. 反転授業の学習展開について具体的に指導案を作成しなさい.



# 第8講 「新たな学びと教育リソース」

## 【目的】

日本では1980年代から「自己教育力」が推奨され、「自ら学び自ら考える力」が重視されている。このことは、他律的でなく自律的な学習態度の教育が重要になっている。ここでは、この実践的資質能力の向上と、反転授業での活用を想定した教育リソースの開発について考える。

## 【学修到達目標】

- 反転授業について具体例を挙げて説明できる。
- 反転授業について具体的に授業設計ができる。

# 小中連携教育コーディネーター概論

「新たな学びと教育リソース」

久世 均(岐阜女子大学)